



福島県企業局ニュースレター 第31号 令和8年8月31日発行

皆さん、こんにちは。
工業用水道に関わる情報をお届けいたします。

【今回のトピック】

- 1 情報伝達訓練の実施について
- 2 管路の重点点検について
- 3 工業用水道放射性物質モニタリング結果について
- 4 ダムの貯水状況について
- 5 工業用水の風景 ～勿来工業用水道の沼部ポンプ場～
- 6 福島県からのお知らせ

1 情報伝達訓練の実施について

近年、地震や台風、豪雨等の自然災害の頻発化、激甚化などにより工業用水道事業を取り巻く環境に不確実性が増しているところです。

万一を想定し確実な情報共有のため、福島県工業用水道業務継続計画に基づき、自然災害を想定した関係者間の情報伝達訓練を実施します。

（訓練の内容）

大規模災害を想定した企業局から受水企業へのメール・FAX 及び電話による情報伝達訓練

（訓練実施日時）

令和8年9月9日（水）

- | | |
|------------------|-------------|
| ・磐城工水、小名浜工水、相馬工水 | 9：00～11：00 |
| ・勿来工水 | 13：00～15：00 |

詳細については8月6日付けでお送りした「工業用水道事業における情報伝達訓練の実施について（依頼）」をご参照ください。

2 管路の重点点検について

企業局では、管路に異常がないかを早期に発見するため、日常点検としての管理業務委託者による目視点検（相馬工水は2週間に1回、いわき地区は3日に1回）に加え、職員による直営での管路パトロールを相馬工水では月1回、いわき地区ではおおよそ月2回の頻度で実施しています。

パトロールの実施に当たっては、管路が歩道に埋設されている箇所が多いことから、自転車で走行し、漏水がないか、路面に隆起や陥没がないかなどに重点をおいた点検も行っています。

引き続き、日頃の点検に加え、計画的な維持管理により、安全で安定した送水にとりくんでいきます。



3 工業用水道放射性物質モニタリング結果について

各工業用水の直近の結果についてお知らせします。

○ 放射性ヨウ素 I 131、放射性セシウム Cs134、放射性セシウム Cs137 について、いずれも検出限界値未満でした。（令和8年8月19日採水分）

※平成23年11月以降は検出限界値未満となっています。

なお、これまでの結果は以下のリンク先を御覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/60015c/monitoring.html>

4 ダムの貯水状況について

工業用水道の水源となっているダムの貯水状況（令和8年8月31日現在）についてお知らせします。

現在のところ高柴ダムは満水、真野ダムもほぼ満水となっております。

- 高柴ダム（磐城工業用水道）
貯水率 100.0%
貯水位 標高 53.49m
- 真野ダム（相馬工業用水道）
貯水率 99.8%
貯水位 標高 172.96m

貯水率（％）＝現在の貯水量（m³）÷利水容量（m³）×100

利水容量

高柴ダム 320万m³

真野ダム 以下のとおり

期間	運用	利水容量
10/16から6/14	非洪水期	2,780万m ³
6/15から10/15	洪水期	2,380万m ³

貯水位は、以下のリンク先にて確認出来ます。

https://kaseninf.pref.fukushima.jp/web_pub/dam/O10401_60_1_0.html

5 工業用水の風景 ～勿来工業用水道の沼部ポンプ場～

工業用水道施設に関連した風景や話題、普段は見ることのできない施設の内部など、様々な視点で、写真や図で紹介します。

今回は、勿来工業用水道の沼部ポンプ場（いわき市沼部町地内）について紹介します。

勿来工業用水道は鮫川に設置した沼部堰により水をせき止め、水位を上げることで取水しています。昭和 39 年 4 月から勿来地区（当局では本勿来地区と呼称）へ給水を始め、平成9年からは、南台地区に供給区域を拡張しています。

① 沼部堰——鮫川から水を取り込む「入口」

沼部堰は、鮫川に設けられた工業用水の取水施設です。

川を堰き止めることで水位を確保し、必要な水を取水します。つまり、工業用水道にとっての「入口」に当たります。

沼部堰は昭和 38 年に建設され、長年にわたって勿来工業用水道を支えてきました。老朽化が著しいため、下流に新たな堰を設置する工事を令和4年度から進めています。



② 沼部ポンプ場——水を「動かす」心臓部

水を工業用水道のネットワークへ送り出す重要な施設が沼部ポンプ場です。



ポンプは、水にエネルギーを与えて必要な場所へ送る設備です。

イメージとしては、

「確保した水を必要な方向へ力強く送り出す」という役割です。

③ その先——工業用水として企業へ

ポンプ場から送り出された水は管路を通り、本勿来地区と南台地区へ供給されます。

給水能力は、本勿来地区が 248,100m³/日、南台地区が 41,900m³/日です。

沼部堰ポンプ場とは一言でいうと、

「鮫川の水を、いわきのものづくりにつなぐ施設」です。

水源 → 取水 → ポンプによる送水 → 管路 → 工場等

という流れで、安定した工業用水の供給を実現しています。



(R8.8.25 撮影)

6 福島県からのお知らせ

★【大ゴッホ展】の感動を、もう一度。【記念講演会連続開催！】

2027年6月より【大ゴッホ展 アルルの跳ね橋】が開催されます！

その開催に先駆けて、県内5会場で特別講演会を開催。

専門家が紐解く、“天才画家ゴッホの真実”や作品に込められた想い、時代背景を分かりやすく解説します。

アートファンはもちろん「ちょっと美術は敷居が高い…」と感じている方にもおすすめです♪

【大ゴッホ展 アルルの跳ね橋】が何倍も楽しくなる講演会のお申込みは、

↓こちらから！

https://select-type.com/rsv/?id=JfumSQen8IM&c_id=446528

※12/20 県北会場、1/23 県中会場は定員に達しましたので申込を終了いたしました。

※相双会場の受付は9/2（水）まで！

※会津会場・いわき会場はまだ空きがありますのでぜひお申し込みください！

150

大ゴッホ展 開催記念講演会

2027年 福島県立美術館で開催される
「大ゴッホ展 アルルの跳ね橋」
を記念して、
ゴッホの専門家による講演会を
県内5会場で実施

参加
無料

申込はコチラから

※お申し込みは先着順で各講演会定員に達し次第、受付を終了いたします。
※各講演会の定員数につきましてはお申し込み時点で確認ください。

2026 9.5(土) 15:30~ 相双会場 相双市民会館 相双市民会館2階 講師: 正田 倫典氏 (西野学園大学 准教授)	2026 10.3(土) 13:30~ 会津会場 会津大学 大講義室 会津地区第一文化館 講師: 渡邊 晃一氏 (福島大学 教授) 福島大学芸術による地域創造研究所 所長	2026 11.21(土) 13:30~ いわき会場 LATOV 6F いわき産業創造館 いわき市市民会館3階 講師: 早川 博明氏 (福島県立美術館 名誉館長)
2026 12.20(日) 13:30~ 県北会場 福島市アクティブシニアセンター・アオウセ 福島市市民会館(福島市市民会館) 講師: 吉屋 敬氏 (執筆家・ゴッホ及び 他絵画・デザイン・絵画研究家)	2027 1.23(土) 13:30~ 県中会場 ビッグアイ(株) 郡山市民交流プラザ ビッグアイ(株) 郡山市民交流プラザ 講師: 熊澤 弘氏 (東京藝術大学 教授)	

主催/福島県

お問い合わせ/大ゴッホ展 開催記念講演会事務局(株式会社ライト・エージェンシー内)
TEL: 024-521-8070(平日9:00~17:00)

<編集後記>

こんにちは、編集担当のKです。

8月13日～16日はお盆です。私も実家のお墓参りにいってきました。

昔、太陰暦だった時代にはお盆は7月15日でした。そして、太陰暦では毎月15日は満月なので、お盆は必ず満月となっていました。美しい月に照らされてご先祖様の霊が戻ってくるというのは、とても風情がありますね。

皆さんの御意見、御感想などをお聞かせください。

御意見、御感想などはこちらからお願いします。

kougyou_keiei@pref.fukushima.lg.jp

福島県企業局

〒960-8670 福島県福島市杉妻町 2-16

電話 024-521-7572（代表）

mail kougyou_keiei@pref.fukushima.lg.jp

企業局いわき事業所

〒971-8185 福島県いわき市泉町字小山 310

電話 0246-56-5821（代表）

※ 配信先変更及び配信停止は、上記アドレスから御連絡ください。